

- 1 審議会名 武石地域協議会
- 2 日 時 平成26年6月18日 午後7時00分から午後9時25分まで
- 3 会 場 武石公民館 第1会議室
- 4 出席者 新井敦子委員、新井徳委員、内山長雄委員、金子隆博委員、北澤美恵子委員、清住洋子委員、児玉卓文委員、小林裕美委員、斎藤勇一委員、桜井久美子委員、下村利枝子委員、竹内利通委員、中嶋三津子委員、成田英雄委員、廣川光子委員、伏見貴昭委員
【欠席委員】4名
- 5 市側出席者 渋沢地域自治センター長、児玉地域振興課長、聲山市民生活課長兼健康福祉課長、雨宮産業観光課長兼建設課長、滝沢武石上下水道課長、佐藤地域政策係長、青井統括主査
- 6 公開・非公開等の別 (公開) ・ 一部公開 ・ 非公開
- 7 傍聴者 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 平成26年7月4日 作成部局課名 地域振興課地域政策係

協議事項等

- 1 開 会 (竹内副会長)
- 2 あいさつ (清住会長)
みなさまこんばんは。今日もよろしくお祈いします。今日もジャンケンをしてください。まずは私と、「最初はゲー、ジャンケンポン。」では次に、私に必ず勝ってもらいます。後だしジャンケンしてリズム良くポンポンで勝ちの手を出してください。頭の活性になるそうです。「後出しジャンケン、ジャンケンポン。」あれ。すぐ出せませたか。私に勝てましたか。少し早くしますよ。～数回行い、和やかな雰囲気になる～ はい、勝ちましたね。今日もよろしくお祈いします。
- 3 報告事項
(1) 武石児童館の床塗装修繕の工事内容について
【上田市教育委員会学校教育課子ども育成係長から説明】
武石児童館は建てて5年ほどで床がささくれた。子どもたちの裸足に刺さる危険な状況。修繕するために予算額は130万円を見込み、事業費の1/2を地域振興事業基金から充当させていただきたい。修繕範囲はヒノキ、カラマツ部分面積435平方メートル。床を研磨し、塗料を2回塗る予定。本日の報告後契約準備を早く進めたい。工事は児童館の利用状況がありますので支障ない時期に行いたい。
【質疑・意見等】
(会長) 教育委員会からの報告につきまして、ご質問ございますか。
(委員) 建てて5年で(ささくれ)修繕は早いのでは。
(係長) 今後また5年ごとに130万円かかるのは大変。今回の補修で5年以上は大丈夫な状態になるようにしていただきたいと思います。
(委員) 塗料ワックスはどのようなものを使用するのか。
(係長) 見積書には「オスモ塗料」と書いてある。専門ではないので、これ以上は申し上げられない。
(会長) (会長は児童館の館長)武石の児童館建物は大変すばらしい。材質は自然に近いものを使っている。児童館は床暖房が入っているの、裸足で過ごすことができるのは非常にありがたい。しかし、子どもたちの使い方何が起こるか分からない。私たちが思った以上に木肌、床がささくれてきた。
(委員) 肌を触れるとヒノキとカラマツは若干柔らかめの材質だ。
(委員) 子どもたちの安全が一番だ。

- (委員) 公共工事で数年前から県産材を使う傾向にあり、こういう問題が起きていると聞いている。ヒノキは塗装剤を使用しなくても磨けば何百年と持つ。地域産の物を使うのはいいが、素材がいけなかったのか、一番初めの塗料が悪かったのか、子どもの使用頻度が高いのか。
- (委員) 床暖房で乾きすぎていけないのか原因究明をしてもらいたい。次の補修で使う塗料も大丈夫か、安全性も検討する必要がある。メンテナンスも正しくしないと、5年経ってまた修繕となると、予算付きません、やりませんではすまされない。
- (係長) 塗料関係は良く確認し、安全で長持ちするものを入札で考えたい。
- (会長) 地域振興事業基金を使うことはよいですか。
- (事務局) 基金の使用については、自治センター関係の平成26年度当初予算の説明でご理解が得ている。
- (会長) 館長として、教育委員会の方とメンテナンスも話し合いたいと思う。よろしいですか。
- (係長) ありがとうございます。

4 協議事項

(1) 部会編成について

- (会長) 先月協議テーマを3つに決めていただきましたが、それを基に部会の編成をしたので確認をお願いしたい。お手元に名簿を配布したがよろしいか。その後部会に分かれて部会長、副部会長を決め、今後の予定を決めて欲しい。編成は各部会とも同じ人数になっている。よろしいでしょうか。

～異論は出ない～

- (会長) では、このメンバーでよろしくをお願いしたい。それでは部会に分かれて話をし、それぞれの部会で今日決まったことの報告を午後8時30分頃から発表をお願いしたい。

【議題ごとに協議】

武石地域経営会議設立に向けた調査研究部会
武石地域全域公園化構想推進部会
活発な地域づくり部会 ～おらほの武石づくり～

(2) 専門部会

武石地域経営会議設立に向けた調査研究部会(正:児玉委員、副:柳沢委員)

- (委員) 部会長に児玉(委員)、副部会長に柳沢委員に決めさせていただいた。前会議のときにこの地域経営会議部会に自ら志願したのは柳沢委員だけだったので、今日は欠席していますが、副部会長を了解いただけと思う。

本日話し合ったことですが皆さん、経営会議について一定程度勉強した、情報をつかんだ方、いらっしゃいますか、手を挙げていただけたら。上田市がそれぞれの地域に経営会議をつくり、地域内の自治を進め、構想を持っていることをご存知の方、いらっしゃるか。

この専門部会のメンバーの6人、私は去年、自治連合会長で説明を受けたり、講演を受けたりして一定程度話は聞いている。そういう状況ですから、今後は上田市が構想している地域経営会議とはどのようなものか、部会で市の担当者に直接話を聞くなど勉強していかないといけない。

また、協議会の席に市の構想計画を担当している部局の方に来ていただき、説明会をお願いしたい。その折に疑問点など明らかにしておきたいので事前に調整したい。経営会議は、今年度丸子、豊殿、川西地域では発足予定で今、立ち上げの準備段階だと聞いている。一定程度活動開始し、問題点や活動が見えてくるのは秋口9月から10月頃と思う。3地域の内、1地区を設定し専門部会で話を聞きたい。大枠だけでも部員が理解し、市の理想と構想、現実の分析ができればよい。

協議会の皆さんに今年度の末までには、一定程度の理解をしていただく。本日の部会では、このような話をした。

- (会長) 今聞いた報告で質問等がありますか。

【質疑・意見等】

- なし

武石地域全域公園化構想推進部会（正：伏見委員、副：成田委員）

（委員） 昨年度のメンバーの中で成田委員一人しか残らず、新メンバーで構成された。このメンバー構成に部員全員が疑問を持っている。部会長は伏見（委員）、副部会長は成田委員にお願いした。

私は、せいしゅん村の代表で来ている。5月、6月は延べ18日間、子どもが20名くらい武石地域に来て4～5班に分かれて武石公園に登って自然散策、武石（ブセキ）拾いなどをやっている。昨年、武石地域全域公園化構想の議題に武石公園がテーマになり、駐車場とトイレが検討内容で、第1ステップは結論めいた話が前回のカギだった。

武石地域全域公園化の構想は膨大すぎる。構想を推進する上でひとつ気になる点があり、松くい虫の被害にあった枯れ木が武石地域あちこちにある状態。緑多い中、茶色の枯れ木は見た目によくないが整備するにはお金や手間、パワーもかかる。

このメンバーでどういう方向に向かっていけるのか。わがまち魅力アップ応援事業とのタイアップ、各団体や自治会との連携、すり合わせることも必要。一から勉強し進めたい。

（会長） お聞きしたいことがありましたら、お願いします。

【質疑・意見等】

（委員） 昨年度のメンバーが一人というのはどういう選択で決めたのか。

（会長） 前期までのことは申し送り事項で報告されていて、経営会議部会、活性化部会のほうが希望者がいなかったりで調整させていただいた。

（委員） 申し送り事項だけを2年間、我々はやればよいのか。

（委員） 新メンバーになったので、違う方向へ向かって結構だと思う。一応前期までの申し送り事項は受けていただき、発展させるか、また新たな方向へ協議を進めるのか、部会でよく話し合えばいいと思う。

（委員） それでは何年やっても意見がまとまらない。新メンバーでゼロからスタートに近い形になる。何らかの結論は出さなくても良いのか。

（会長） 要望、方針とかでもよいのであれば出してもらいたい。

（委員） 出したとしても、新メンバーが変わったときに、まったく別の意見を持っている人がいたらどうするのか。

（委員） 部会の中ではそういうことはいくらでもありえる。最終的に協議会の全体の中で図らないと協議会としての見解にならない。

（委員） それでは部会で決めた事が協議会で違う方向になったら立場がない。我々が議論した時間も無駄。立場がない。

（委員） 部会に分けるとときにそれほどの権限を与えるのかどうか。部会は専門性を持って話し合っ得た結論はすなわち協議会の結論になるくらいの組織的な位置づけの人もいる。2年任期だから、前期のメンバーが継続するとは限らない。入れ換えはいたし方ない。前期の申し送りは一定程度踏まえていただくが、新議題に取り組むのもいたし方ない。2年間の間に何らかの形を作らないといけない。

（委員） それでは何年もまとまらないのでは。結論を出さなくてもよいのか

（委員） できるだけ出さなくてはいいないが、出ない案件もある。

（委員） 例えば雲溪荘問題も繰り返し議論を重ね、結論が出た。全部継続ではない。

（委員） テーマにもよる。

（委員） 雲溪荘は時間切れで結論を決めさせられたと感じた。

（委員） 2年任期の中で話し合ったことは形に残したい。

（会長） 本日冒頭の協議で、部会構成案が出たときに何も意見がなかったので進めさせていただいた。どの部会に入っても同じです。雲溪荘は先輩のやってきたことを尊重し、新メンバーで知恵を絞り、あがいて形にしてきた。2年でメンバーが変わるのは建設的に考えないと同じメンバーでは行き詰まることもある。武石地域が良くなることを知恵出し合っ、話し合ってもらいたい。

（委員） （部会構成は）皆さんが最初に決めたので、このままでよいと思う。

（会長） よろしいですか。ではよろしくお願いします。

（委員） 私も部会に入って一つでも二つでも目に見えることを作ってやっていきたい。

（昨年度提案があった）公園化部会について、前期委員からの申し送り事項にもあるとおり昨年度、駐車場とトイレ用地として結論出した二筆の土地のことで、片方は今年ブルーベリーを作り、草むしりなどして手入れしている。その状況を見れば活用は難しい。隣の

雪捨て場にしたい市有地があるが、赤線、あぜ道は山道まで続いているのか。駐車場として使った場合問題はないのか。

(委員) だったらトイレ設置は無理でも、武石公園駐車場と看板だけでも出したらどうだろうか。一つ検討してもらいたい。協議会委員と自治会との共同作業になるかもしれないが、葦の刈り取り作業もするかもしれない。そのような管理をしながら。植樹植栽するとか、看板を設置してトイレはともしび博物館にあるとか、表示を出したらどうか。検討していただきたい。トイレは建設費、維持費がかかる。案内看板の設置は問題が少ない。

活発な地域づくり部会 ~おらほの武石づくり~ (正副は、全員揃ってから決めたい)

(委員) この部会はメンバーが全員そろわなかったので、全員そろったところで正副会長を決めたい。

先程メンバー(構成)が変わって(話を継続させるのは大変)...、の件ですが、私の意見としては、前期の活発な地域づくり部会は意見出しつくし、(同じメンバー構成では)良い案が出ずに困っていた。

武石地域はよその人が見たら元気があり、いろんな行事があり、まとまってすごいと良いイメージをもたれている。しかし、実際のところは体育祭なども中止になり、大勢に集まって行く大変さは委員全員が感じており、その中で活発な地域づくり部会で意見を出してもらった。

前期委員は人口を増やすことを考えてみた。しかし、全国で人口減少が続く中、武石地域だけが増えるのは難しいと感じた。今期は、武石地域は農村地域なので農業について取り上げてみようと思う。その中で先頃、信州せいしゅん村のホットステイで302人がこの地域に来たそう。あちこちに中学生がいて、たくさんのお年寄りたちがいて農業を教え、活動が元気につながっている。

今回一致した意見は、色々なことを出来る、出来ないの話になるのはともかくとして、夢のある方向に進めて行きたいと全員一致した。次回の話し合いに期待したいと思う。

(会長) 今聞いた報告で質問等がありますか。

【質疑・意見等】

- ・ なし

5 その他

(1) 次回協議会の日程について

- ・ 協議の結果、第5回(8月)からは、“第3週水曜日”とは決めずになるべく全委員の都合のつく日に開催するよう協議する。

次回会議の日程等について

- ・ 協議の結果、第4回は7月16日水曜日、午後7時から午後9時までと決定する。場所は、自治センター2階第1会議室で行う。

6 閉会(竹内副会長)